令　和　５　年　１　０　月
摂津市立味舌小学校
校長　　奥野　友紀

令和５年度 全国学力・学習状況調査の結果から

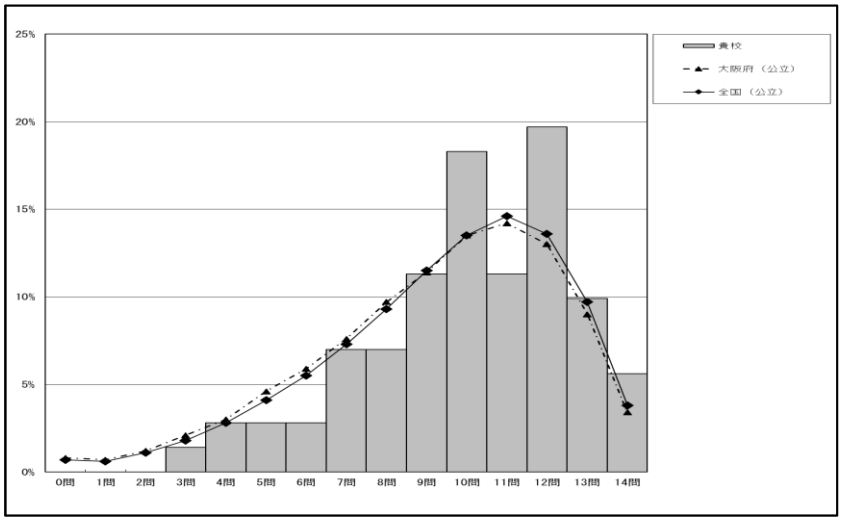
１.結果概要

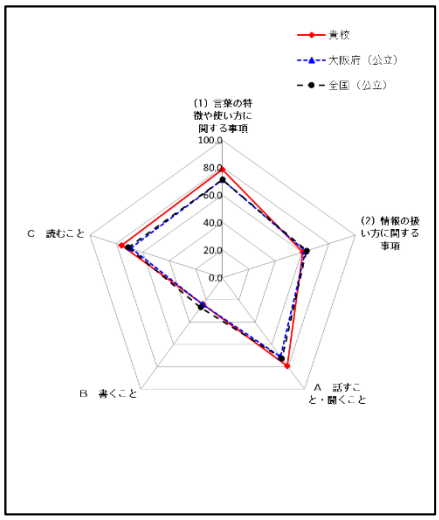
（１） 各教科の結果から

① 国語

本校の平均正答率は、全国平均や大阪府平均を上回った。

「話すこと･聞くこと」「読むこと」に関する問題は全国平均よりも高い。「書くこと」については、全国及び大阪府ともに平均値を下回り低くなっている。

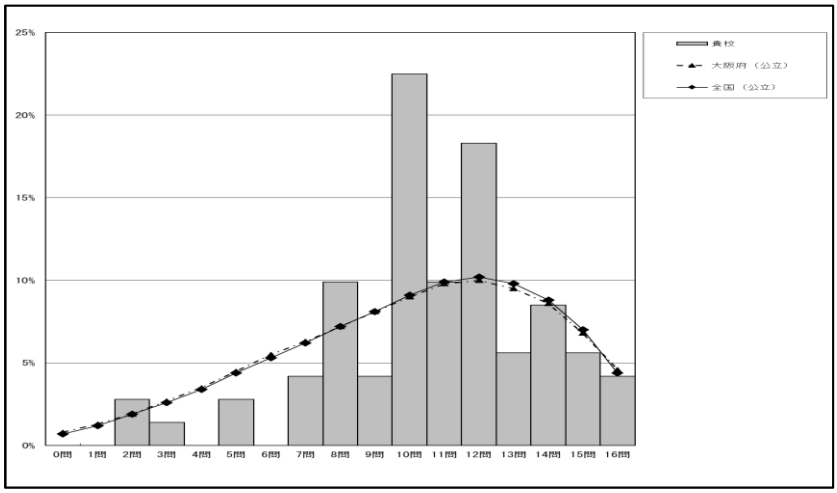


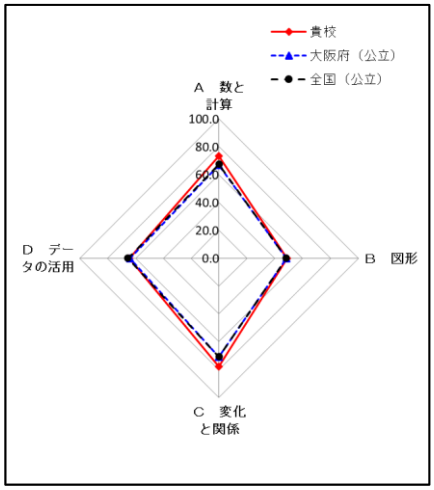


② 算数

本校の平均正答率は、全国平均や大阪府平均を上回った。

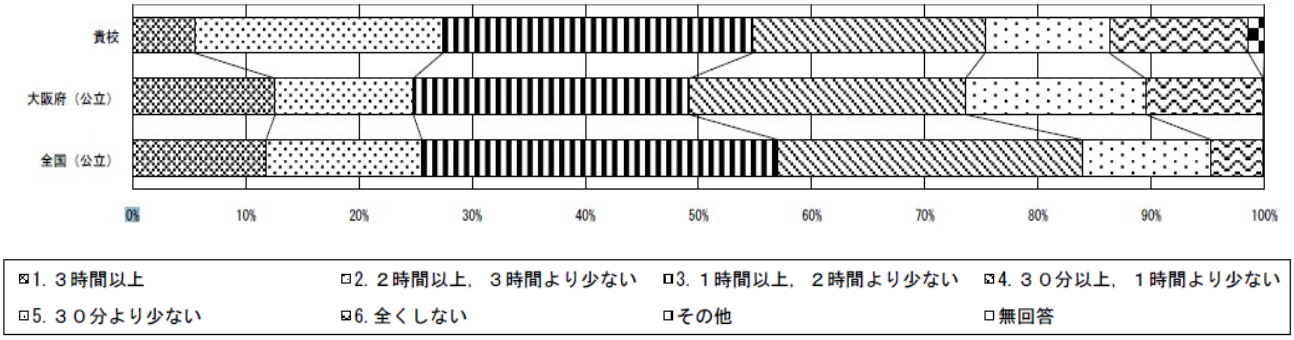
「数と計算」「図形」「変化と関係」に関する問題の正答率は、全国平均よりも高い。一方、「データの活用」については、大阪府平均よりも高いが、全国平均より低くなっている。



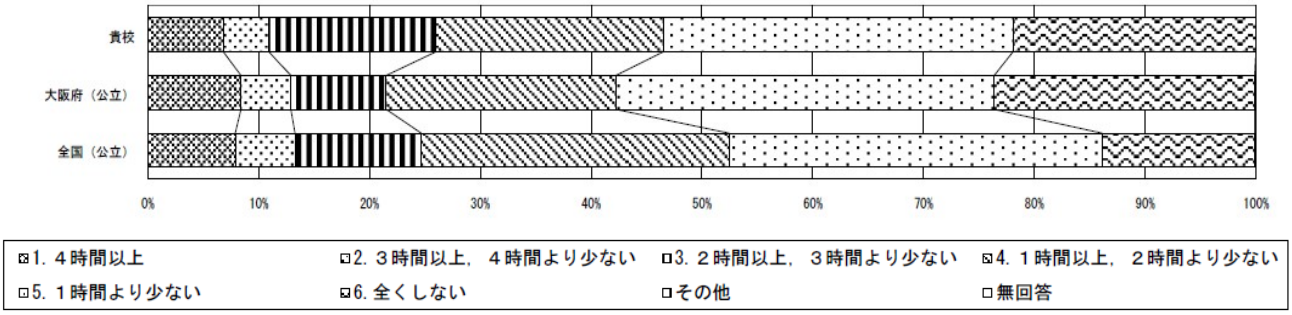


（2） 児童質問紙から

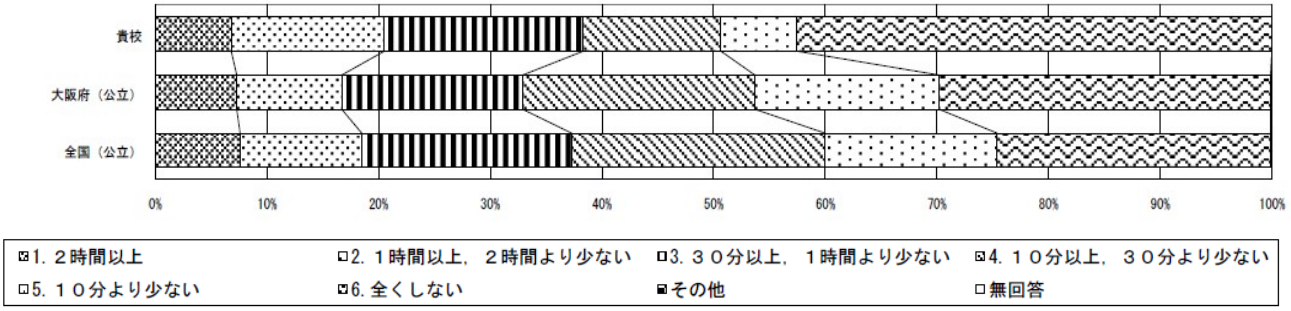
◇ 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



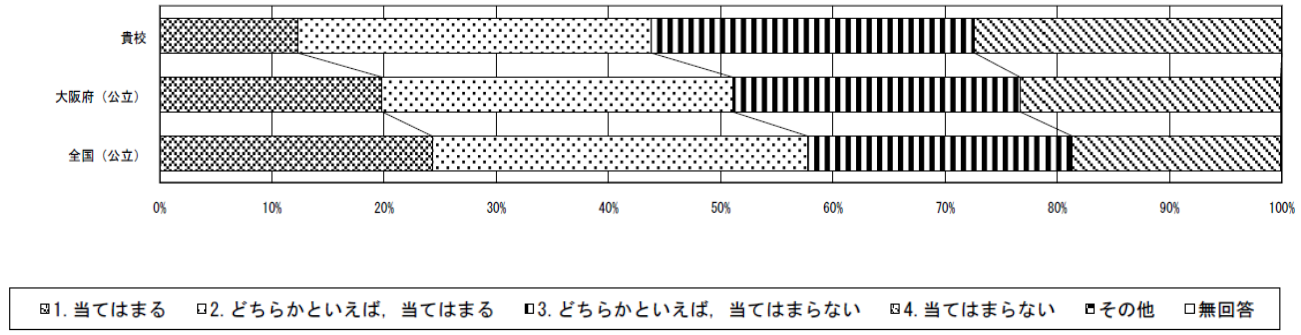
◇ 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



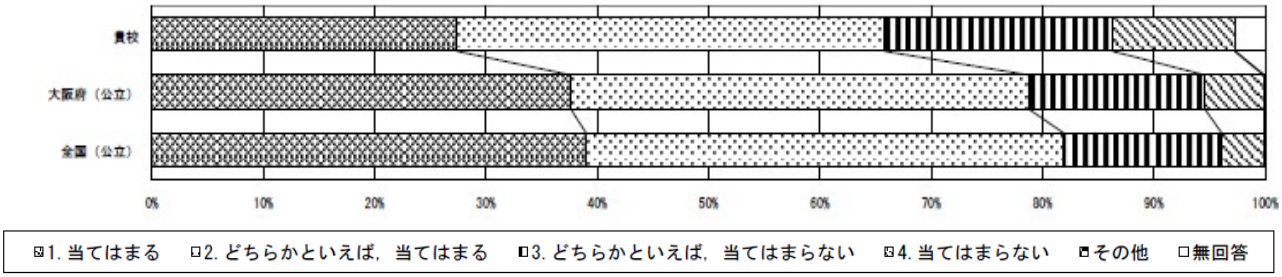
◇ 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画は除く）



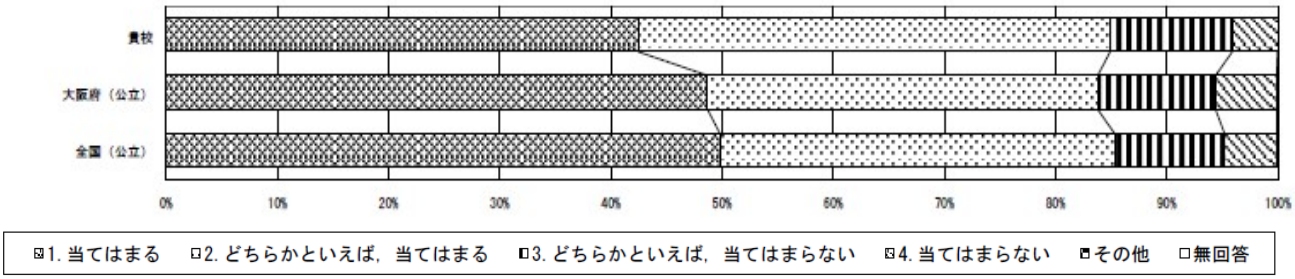
◇ 今住んでいる地域の行事に参加していますか



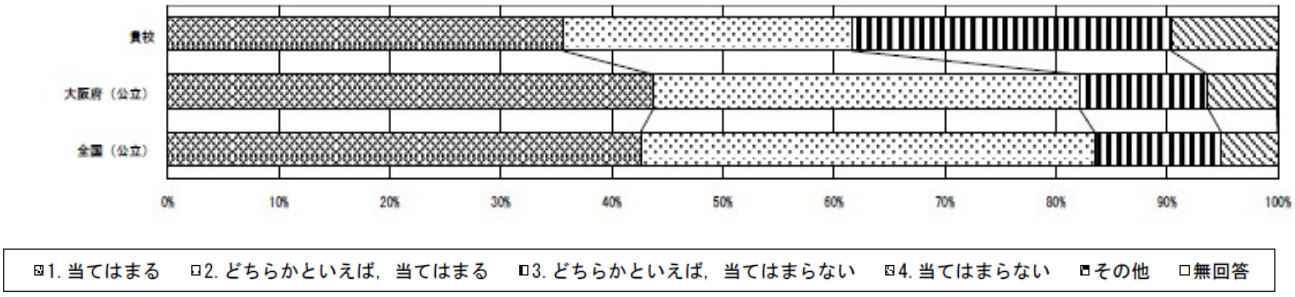
◇ 授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか



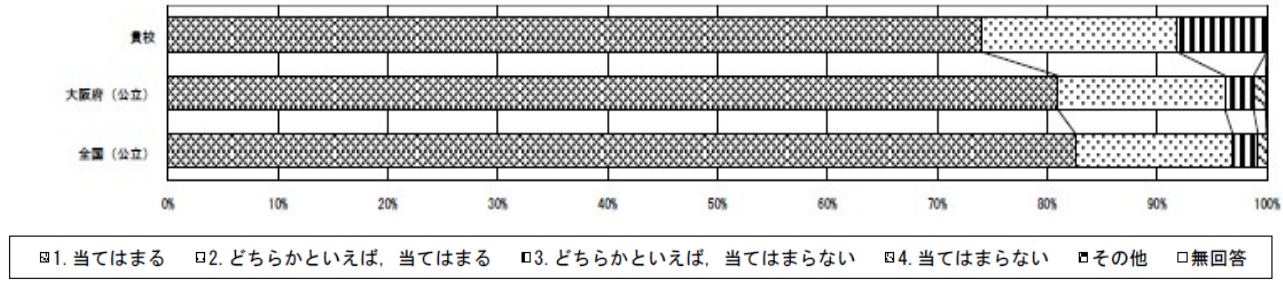
◇ 学校に行くのは楽しいと思いますか



◇ 自分には、よいところがあると思いますか



◇ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



2. 結果から見える課題

（1）総合的に

・ 複数の情報から必要な情報を取捨選択し、活用することが難しい。
・ 問題文の意図を読み取れていない（条件の読み取りが苦手）。
・ 記述式回答において、無回答率が高い。
・ 見直しや解き直しの習慣や方法が定着していない。

（2）国語

・ 漢字や文法（主語・述語、敬語など）が定着していない。
・ 文章全体の構成が理解できていない。
・ 語彙が少ない。
・ 自分の考えや指示された人物の立場に立った意見の主張を書くのが難しい。

（3）算数

・ 記述式解答の条件が不足している。
・ 公式の利用はできているが、意味理解ができていない。
・ 文や資料などから、必要な情報を取捨選択できない。

（4）生活習慣・学習習慣（児童アンケートより）

・ 家で学習する時間が、大阪府平均より長いが、全国平均よりも短い。
　学校以外での学習時間が 1 時間以上　平日54.8%（大阪 49.2%全国 57.1%）
　土日 46.5%（大阪 42.2%全国 52.5%）
・ 今住んでいる地域行事に参加している割合が全国や大阪府平均よりも低い。
　本校 43.8%（大阪　51.0%　全国 57.8%）

3. 課題に至った原因（これまでの取組みの効果検証）

（1）授業・指導

・「読む」授業において、思い込みや推測で読みがちで、叙述を基に捉えることが不十分である。
・ 普段の授業で、既習事項を使う意識や態度を育めていない。

（2）児童の学び

・ 宿題をする習慣がついているが、それ以上の課題に取り組めていない。また、自分で課題を発見し、学習計画を立て解決する力が育めていない。
・ 発展的な学習に、一人で向き合い根気よく取り組むことが難しい。

4. 改善策

（1）授業改善

・「教える」授業から、「子ども論理」※の授業へ教員の意識を変える。

※子どもたち自ら思考の文脈を形づくることによって、言葉に対する見方・考え方を働かせ、主体的・対話的に学ぶ。

・ どの教科においても、学習用語を適切に使用し、自分の言葉でまとめていくことができるようにする。

・ 「わかる」「できる」ことから、長期定着までをめざす。

（2）学力向上への習慣化

・ 見通しを自分で立て、自分の言葉でまとめ、表現して書かせる。

・ チャレスタ（自主学習）の取組みを推進する。（一中校区内で連携）

・ 与えられた課題等を時間内にやりきる粘り強さをつける。

・ 読書（漫画や雑誌を除く書籍）の習慣を身につける。

（3）授業づくり

・ 授業における目標（つけたい力）を明確にし、授業計画を実行する。

・ 授業の最後に振り返りの時間を設定し、児童の学びを自覚化させるとともに、実生活や次への授業に活かす。また、知識等の定着化をねらう。

・ 対話を通して、物事を多角的・多面的にみる力を養う。

・ 個々人の課題に合った全員参加の授業をめざす。

（4）その他

・ 地域とつながる取組みを実施する。

・ 地域行事の情報発信を行い、参加を呼びかける。

5. スケジュール（改善策の具体的な実施）

通年　○ チャレスタ（自主学習）の推進

○ マシコレ（条件付き短作文ワーク）の定期的な実施

○ 本ごちタイム（定期的な読書タイム）の実施

○ 5分間プリント（国語・算数）の取組み

○ チャレスタ（自主学習）の向上の提案（チャレスタウィーク年４回、チャレスタコンテスト年2回）

○ 味舌っ子学習広場（9月より月1回実施）

8月　○ 全国学力・学習状況調査及びすくすくウォッチについて、問題及び結果分析

→ 各学年の授業での意識向上・取組みへ

11月　○ 教職員間による相互参観（校内及び中学校区）

12月　○ 摂津市学力定着度調査実施

→分析

→取組みへ

2月　研究発表会

「学ぶ楽しさを実感し、確かな学力を身につける子どもの育成」

→ふりかえり・反省

→次年度の研修へ

3月　次年度への引継ぎ